

ひびき

発行・編集責任者／取手市議会議長 入江 洋一
 発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局
 〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
 電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)
 ファクス 0297-74-1990
 ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
 e-mailアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp



取手市議会だより第230号 2019(令和元)年11月1日発行

<紙面から>

令和元年第3回定例会が9月2日から20日まで、第2回臨時会が10月21日に開催されました。定例会では平成30年度決算の認定をはじめ、市職員倫理条例制定やJR取手駅のバリアフリー化に関する補正予算など、多くの議案が審議されました。また、臨時会では、副市長人事に関する同意案と台風15号の災害対応に関する補正予算の承認案が審議され、いずれも同意・承認となりました。

- 注目**
- 徹底審査で平成30年度決算を認定 … P1・2
 - 県内初！職員倫理条例を制定 …… P2
 - 副市長決まる！臨時会開催 …… P8
 - 会議だけじゃないんです！議会 …… P10



会議室に新設されたスクリーンを活用し、より具体的な説明や質疑が行われました

税金の使い方を 議会がチェック！

今定例会では、平成30年度決算について、必要な事業に適正に支出されたかを審議しました。一般会計決算は今回設置した決算審査特別委員会に、七つの特別会計決算は所管する各常任委員会に付託され、一つ一つ審査が行われました。各委員会による審査を経て、定例会最終日に決算案は全て認定されました。本会議での討論は、一般会計・特別会計共に2ページに掲載しています。

平成30年度特別会計決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	主な事業内容
取手駅西口都市整備事業	12億4,125万円	12億779万円	取手駅北土地区画整理事業、取手駅北地区建築物整備事業等
用地先行取得事業	1億1,097万円	1億1,097万円	取手駅東口多目的広場用地に係る元金、利子返済等
国民健康保険事業	123億2,419万円	115億919万円	保険給付費等
後期高齢者医療	26億8,904万円	26億7,160万円	後期高齢者医療広域連合納付金等
介護保険	82億4,226万円	79億5,494万円	居宅・地域密着型・施設介護サービス給付費等
競輪事業	9億565万円	8億7,744万円	通常競輪開催・場外車券発売経費等
取手地方公平委員	78万円	48万円	公平委員報酬等

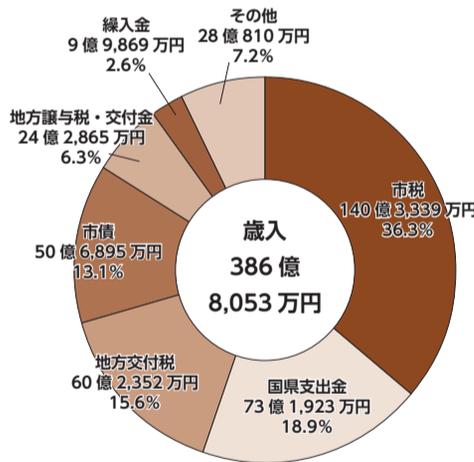
委員長 金澤克仁
副委員長 池田 慈
委員 加増充子、赤羽直一、佐藤清、齋藤久代、染谷和博、山野井隆、石井めぐみ、小池悦子

決算審査特別委員

今定例会では、10人の委員による決算審査特別委員会を設置しました。平成30年度決算は、市税が大きく減となり、減収補てん債(市債)を発行する厳しい状況の中、少子高齢化への対応(民生費)、安全安心な学校教育(教育費)、桑原地区整備事業(土木費)等について適正に予算が執行されているか3日間にわたり審査され、一般会計決算は認定となりました。

特別委員会を設置し 一般会計決算を審査

一般会計決算額



市税…市民税や固定資産税など、皆さんが納めた税金

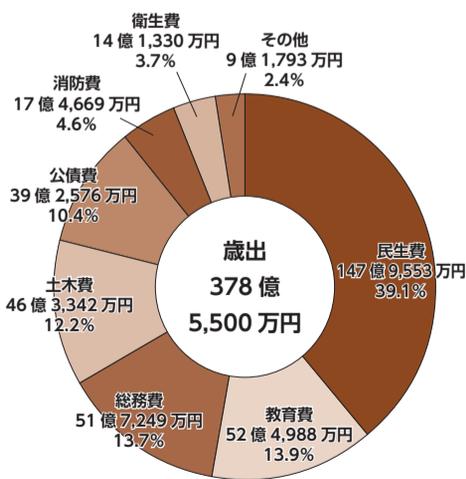
国県支出金…国・県から交付される、目的の決まったお金

地方交付税…市の財政が一定水準となるように国から交付されるお金

市債…市の借金

地方譲与税・交付金…国税の一部から市へ譲与されるお金

繰入金…市の貯金(財政調整基金)から引き出したお金



民生費…高齢者や障がい者、児童に対する福祉などの経費

総務費…市役所の運営、交通安全、災害対策などの経費

教育費…学校教育や文化・スポーツ振興などの経費

土木費…道路、排水、公園などを整備する経費

公債費…借金の返済金

消防費…消防や防災のための経費

衛生費…ごみの収集や病気の予防などの経費

市議会議員と意見交換しませんか

11/9(土) 10時～ 会場：藤代庁舎大会議室

「議員と語ろう現在と未来～市民との意見交換会～」

下記の概要にて、市議会主催の意見交換会を開催します。福祉、防災、教育、町づくり等、気になる事項を市議会議員と意見交換しませんか。ぜひお気軽にご参加ください。

- 【日時】** 11月9日(土) 午前10時から2時間程度
【会場】 藤代庁舎大会議室
【内容】 各委員会ごとに次のテーマで意見交換を行うほか、自由テーマで意見交換ができます。
- ◆ 総務文教常任委員会：空き家問題
 - ◆ 福祉厚生常任委員会：健康(健幸)づくり
 - ◆ 建設経済常任委員会：これからの農業



※参加の事前申込みは不要です。直接会場へお越しください。

決算討論

決算関係議案について、1ページで紹介した委員会審査の様子に続き本会議での討論の概要をお伝えします。

一般会計決算

加増議員：取手駅西口開発や桑原地区整備を進めることにより財政を圧迫し、福祉や市民生活に負担を強いている。反対。

吉田議員：厳しい財政状況の中で、子育て支援の充実、安全安心な町づくりの推進などに財源が適切に配分され、効率的に事業が実施されている。賛成。

赤羽議員：歳入面では非常に厳しい状況であったが、「選ばれるまち」の実現を目指し、基本方針・重点施策に沿って各種事業が展開された。賛成。

佐藤（隆）議員：少子高齢化が進む中、平成30年度は確かな効果につながる事業を展開している。今後も都市基盤整備や雇用促進、定住化、子育て支援など施策を積極的に推進し、持続可能な町づくりにつなげてほしい。賛成。

石井議員：藤代防犯ステーション設置により、安心で安全な町づくりが強化された。その他、子育てに関する事業なども高く評価。賛成。



藤代防犯ステーション(藤代駅南口)

齋藤議員：平成29年9月議会での決議で提案した2つのうち、債権管理条例は平成31年4月1日から施行。シテイプロモーション強化も各課連携により効果をもたらすよう期待。賛成。

山野井議員：市内特産品販売路開拓促進事業、市民会館大規模改修事業、チャレンジー事業など、限られた予算を効率的に配分し、市の魅力度向上に寄与する事業が多く実施された。賛成。

特別会計決算

取手駅西口都市整備事業
加増議員：土地区画整理事業は早期収束により、無駄な支出を抑えるべき。市民が安心して利用できる取手の玄関口として親しまれる駅前にしていくことが求められる。反対。

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険事業
小池議員：国民健康保険は、黒字決算と基金積み立ての

現状を考え、高過ぎる国保税を引き下げるべき。後期高齢者医療の被保険者は低所得者層が多いが、10月からの特例措置廃止で値上げとなる。制度そのものが負担増を押し付けている。介護保険が介護の社会化を果たせないまま給付制限へと向かっている。国にしっかりと意見を言うべき。反対。

競輪事業
加増議員：ギャンブル依存症は深刻な社会問題。取手競輪場を文化・スポーツ・福祉関係施設に転換を図るべき。反対。

染谷議員：いよいよ取手競輪場できいき茨城ゆめ国体が開催される。競輪事業はスポーツの発展、社会貢献の意味、そして税収の面からも、取手市には必要な施設。賛成。



いきいき茨城ゆめ国体、自転車トラック競技(取手競輪場)

議案と討論

賛成

反対

令和元年第3回定例会で審議され、討論が行われた議案の結果と討論の概要をお伝えします。
議案には、主に市長が提出する条例制定・改正案、予算案等の他、議員が提出する条例改正案・意見書案等があります。今定例会では、市職員倫理条例制定案で活発な討論がされた他、提出された5件の意見書案のうち4件を可決し、国等へ取手市議会の意見として送付しました。

市長提出議案

●市長の給与月額の特例条例：可決

〔内容〕市立中学校生徒の自死事案に対する市の対応が社会的に大きな影響を与えたことを重く受け止め、市長の給与を今年10月から6カ月間、月額の10分の1減額するもの。

加増議員：ご遺族も市民も、教育委員会の対応には納得していない。自死した少女の尊い命は何事にも代え難いもので、市長の給料減額で済まされない。反対。

細谷議員：まだ説明すべきことが残っている。この問題の最終・最高責任は市長にあり、この議案により、いじめ問題の幕引きはできない。時期尚早。反対。

池田議員：この件の総括を市として発表していない。しっかりと総括を出した後、条例を提出すべき。反対。

●市職員倫理条例：可決

〔内容〕職員の職務に係る倫理保持のため、必要な措置(利害関係者からの贈与等の禁止等を盛り込んだ職員倫理規則の制定・倫理監督者の設置・研修等の実施・状況の公表等)を講じ、疑惑や不信を招くような行為を防止し、公務に対する市民の信頼を確保するもの。

関戸議員：今後の取り組みがより重要。市民からの信頼回復につながる。賛成。
小堤議員：内部規定ではなく条例制定することで、職員の倫理に対する強い気持ちと職務に対する厳正で公正な遂行を市民に意思表示するもの。賛成。

細谷議員：職員倫理を保持するためには職員倫理規則で十分。利害関係者との不適切な交際について徹底調査を求める市民の願いを否定し、条例を制定するとうことは、問題の本質を覆い隠すもの。反対。

齋藤議員：議会からの決議案可決を受け、条例制定と倫理規則が定められる。体制が整備されることは歓迎する。賛成。

細谷議員：この条例により幅が広がるのではなく、制定する理由がない。齋藤議員はこの条例案を高く評価しているが、議案を直視していないのではないか。
齋藤議員：決議案に賛成した細谷議員が本条例は必要ないということは不条理。細谷議員に反論。

細谷議員：この条例を十分に精査したかどうか。厳しく条例議案を見た結果の結論である。

齋藤議員：細谷議員は総務文教常任委員長の立場。審査できる場では一切触れず、反対するのはどうか。

条例改正

●ギャラリーの設置及び管理に関する条例の一部改正 …可決

〔改正内容〕 ボックスヒル 取手4階内に新たに設置されるアートギャラリーの使用料等を定めるもの。

齋藤議員：「たいけん美じゅつ場（VIVA）」が整備され、アートの町取手の玄関口に新たな魅力を全国に発信するユニークな場所が出現する。賛成。

遠山議員：環境が良くなり、市民主体で本来の市民ギャラリー運営を進められる。賛成。

飯島議員：東京芸術大学の収蔵作品展示や各種プログラム等が「たいけん美じゅつ場」で実施される。全国に対して大きなインパクトを与え、その結果、市が活性化される。賛成。



ボックスヒル取手4階に新設される「VIVA」(イメージ図)

●消防団条例の一部改正 …可決



取手市消防団消防ポンプ操法競技大会

〔改正内容〕 合併時に定めてから14年が経過している条例定数を、実情に応じた定員管理とするため改正するもの。

金澤議員：この改正により、消防団組織がより強固なものになり、市民の安心安全を今まで以上にしっかりと守っていただける組織になる。賛成。

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正…可決

〔改正内容〕 国における幼児教育・保育の無償化に伴い、条例を改正するもの。

小池議員：幼児教育・保育の無償化の背景にある財源は消費税増税で市民への負担を強いるもの。無償化の前に、保育士確保や待機児童解消をすべき。反対。

落合議員：日本はまだ重い教育費負担を家庭に強いており、少子化の要因となっている。未来への投資を重視し、安心の福祉社会制度の持続可能性を高める道が開かれる環境整備であると評価する。賛成。

契約締結

①同報無線システム改修工事請負契約の締結…可決

〔内容〕 周波数帯の変更により、屋内でも災害等の情報が受信しやすい防災ラジオの普及を促進し、迅速・確かな情報伝達の体制を整備するもの。

②防災ラジオの取得…可決

〔内容〕 防災行政無線改修工事と併せて、屋内設置の防災ラジオ2000台を購入し、学校、福祉施設や地域での防災活動に当たっている団体に無償貸与及び、希望する一般市民に対して有償貸し付けを行う。



受信するのは音声ではなく文字情報

避難勧告が発令されました

防災ラジオシステムの概略イメージ

染谷議員：緊急情報の文字表示機能付きもあり聴覚障がいのある方には大変便利。周波数を変更したことは災害時に迅速かつ的確な情報伝達に有効。①②いずれも賛成。

関戸議員：防災無線の試験放送等も行い、より充実したものに。自主防災会の意見も聞き、一日も早く多くの市民に渡るよう願う。①②いずれも賛成。

●一般会計補正予算…可決
加増議員：保育料の無償化と引き換えに給食副食費の実費徴収が盛り込まれている。JR取手駅東口構内のバリアフリー化設備整備費補助金は、利便性が不十分なルートに決まった。反対。

補正予算

染谷議員：ご当地ナンバーの製作、アートギャラリー整備事業、高井小放課後子どもクラブ室新築工事実施

設計委託料など、若い世代が歓迎する補正予算。賛成。

結城議員：新アートギャラリーがオープンすることは、市民が待ち望んでいたこと。市民のシティプライド向上に貢献できる。賛成。

池田議員：放課後子どもクラブは子どもたちの成長に大事な場所。支援員や子どもたちの声を受け止め、丁寧に造ってほしい。賛成。

議員提出議案

条例改正

●政治倫理条例の一部改正…否決

〔提出者〕 遠山議員他1人
〔改正内容〕 資産・所得等報告書の議員の提出義務等を規定するもの。

結城議員：再改正をするのであれば、以前と同様な資産公開をするのかは考える余地がある。改選後の議会ですら十分に研究し、より良いものを作るべき。反対。

関戸議員：議員の資産・所得等報告書の提出義務を廃止した改正には政治倫理審査会から厳しい意見が出た。市民から信頼される議員・議会となるように、常に研さんする姿勢を。賛成。

意見書

●自動車運転・自動車装備に関する意見書…可決

〔提出者〕 赤羽議員他3人

〔内容〕 国等に対し、▽あり運転等に対する厳罰化▽ドライブレコーダー義務化および補助制度の確立▽デイライト（昼間点灯）の標準装備義務化▽高齢者ドライバーの免許制度（自動車運転安全装置のある車両のみ運転）▽免許取得・更新時に新たな運転適性試験導入を求めるもの。

関戸議員：交通事故を減らし、命を守るための措置に関して出された意見書案に賛成。

●「豚コレラ」「アフリカ豚コレラ」の速やかな対策を求める意見書…可決

〔提出者〕 山野井議員他4人
〔内容〕 国内で発生している豚コレラへの対応（ワクチン接種等）及び、近隣の国で発生しているアフリカ豚コレラへの対応（検査体制の拡充等）を求めるもの。

●加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書…否決

〔提出者〕 関戸議員他2人
阿部議員：さまざまな原因が重なることで加齢性難聴は起る。難聴の進行を遅らせるための取り組みが大事。財政的負担を考えると余りにも短絡的。反対。

遠山議員：加齢性難聴が認知症を早めることもある。予防として補聴器の助成制度を国に求めたい。賛成。

3

Q 一般質問 A

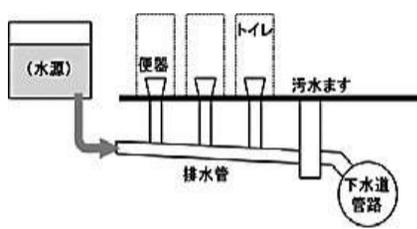
議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。この質問を「一般質問」といいます。今定例会では、22人の議員が一般質問を行いました。

各議員のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、当日の一般質問の様子がYouTubeの動画でご覧になれます。

問 子どもの心の変化に気付いたため、学校では何を実施しているのか。
教育参事 小学4年生から中学3年生までを対象に、一人一人の状況を知るアンケート調査を実施。この調査には、相談したい教員を子どもたち自ら記載できるようにするなど、相談しやすい体制をつくっている。
問 家庭に向けては。
指導課長 リーフレットの配布などを実施。
問 子どもに変化があったときの対応策は。
答 個別面談の実施、教員間での情報共有、対応策の協議を実施。
問 学校、家庭、地域、そして医療機関とも連携しているのか。
教育参事 スクールカウンセラーと連携し、医療機関へつなぐ体制を整えている。
問 自殺予防の取り組みは。
教育部長 夏休み終了前後の土日に教育総合支援センターを開所し、その案内を夏休み前に全家庭に配布、匿名相談アプリ「STOPit」でメッセージを送信している。また、図書館では「効き目ほんわか」ところのお薬100冊

**気付いて！
子どもの心の変化**

小堤 修

貯留型マンホールトイレの模式図。下水道管につながるように接続し、プールの水などを水源に流せるようになっています。[けんせつ Plaza] ホームページより (<http://www.kensetsu-plaza.com/kiji/post/18770>)

問 災害時、避難所で問題となる施設はトイレである。仮設トイレ設置には時間もあり、障がい者には段差等があるため、使用が難しい問題もある。マンホールトイレはこれらの課題を解決するものであり、地域防災計画を見直し、順次、計画して取り組むべき。
総務部長 積極的に研究していきたい。
問 避難行動要支援者の対応に関し、光風台や桜が丘の自主防災会では独自の台帳等を作成し、有事に備えている。しかし、市は避難行動要支援者として、元気な高齢者までカウントしている状況がある。台帳の整理をすべき。
社会福祉課長 今後、真に避難が困難な要支援者の台帳となるよう精査していく。
問 自主防災会が設置されていない地域において、避難行動要支援者名簿の自治会や町内会との情報提供協定締結はどのようになっているのか。
答 協定書を結んだ上で、情報の提供は可能。
【その他の質問】 思春期対策

**災害時の備え
市の対策をしっかりと！**

阿部洋子



問 骨髄等移植ドナー登録者を増やすことが必要なのは当然だが、実際に提供する際の環境整備も必要である。骨髄移植や末梢血管細胞移植では、ドナーは数日から1週間程度の入院が必要である。そのため仕事を長期間休まなければならないことから、事業所の負担軽減、ドナーが提供しやすい環境を指さなければならぬ。
愛知県大府市では、骨髄ドナー登録者を増やし、骨髄提供をしやすいするため、ドナーが勤める事業所(主に対して、1日1万円、上限7万円の助成金を交付する制度を開始した。

**助成制度拡充を！
骨髄移植ドナー**

染谷和博



問 子育て世帯の負担軽減と所得再配分に効果がある学校給食費無償化の考えは。
教育部長 現在、食料費を学校給食費として徴収している。経済的な理由がある保護者には、就学援助制度を案内し、給食費の全額補助を行っている。今後この方針で運営していきたい。
問 国や県に給食費無償化を要望していく考えは。
答 県内市町村の状況を踏まえ、慎重に検討したい。
問 教職員の負担軽減のため、給食費などの徴収管理はやめるべきではないか。
学務給食課長 令和2年4月から、システムを導入し

**学校給食費
無償化の考えは？**

石井めぐみ



【その他の質問】 自転車を生かした町づくり・子育てSOSサービス・大人のワークشن接種

問 市民会館前であったトイレが廃止された。八坂神社前に、消防団第4分団のイベント備品倉庫がある。その空きスペースに公衆トイレを設置してはどうか。
財政部長 間口3畳ほどの狭小な土地であり、また、消防団や倉庫利用時に車の出入りもあるため、提案の公衆トイレ設置は難しい。
問 とりかんロードなど散歩する方の休憩ベンチや健康遊具の設置など、アイデア次第で有効活用できると考えるが。
答 維持管理も含めた中で総合的に検討していく。
【その他の質問】 本庁舎の非常用発電設備の設置



質問の市有地(取手2丁目地先)

【その他の質問】 スマート農業加速化実証プロジェクト・ICTの教育活用・妊産婦の支援体制

問 市有地の有効活用を
吉田 宏



て、当課で行っていく。
【その他の質問】 スマート農業加速化実証プロジェクト・ICTの教育活用・妊産婦の支援体制

町づくりを生かせ アートあふれる取手

齋藤久代



問 市内には約100近いアート作品が配置されている。今後は、町づくりとしてアートの蓄積を生かすべきと考えるが。

市長 来年の市制施行50周年を新たな一里塚として、取手の独自性を発信するよう手掛けていきたい。

問 市ホームページに芸術作品目録があるが、見たくなるページにして発信を。

政策推進部長 今後、その視点で作っていきたい。

問 取手にゆかりのある作家さんの一覧作成を。

文化芸術課長 取手アートプロジェクトの皆さん等と相談しながら考えていく。

問 今後のJOBANアートルラインにおける市の展開は。

答 情報発信に努めつつ、市単独ではできない広が



前東京芸術大学学長で文化庁長官、宮田亮平氏作「シュプリングエン」。躍動感あるイルカがモチーフの代表的なシリーズ。(取手駅東口)

りのある事業を連携して展開。

問 観光地にするために、環境整備が必要ではないか。

市長 再開発をしていくときの大きな課題と考える。

問 観光ボランティアの育成を。

産業振興課長 研究したい。

【その他の質問】 生活保護世帯のエアコン設置・ふれあい道路の管理

備えよ！ 大規模災害

遠山智恵子



問 災害時に備え、避難困難者への対応や地区ごとの避難所、避難経路などを定める避難計画の策定を。

総務部長 計画策定に当たっては、地域の中心的な役割を果たすことが期待できる自主防災組織が重要。

未組織地区の解消を図る。

安全安心対策課長 私たちが地区に出向き、自分自身の防災行動計画となるマイ



龍ヶ崎市側から見た小貝川に架かる文巻橋

タイムラインの作成を促していきたい。

問 災害時、避難所の迅速な確保のため、不動産会社等と協議し、みなし仮設住宅の確保を。

答 県が災害時における民間賃貸住宅の提供に関する協定を全国賃貸住宅経営者協会と締結した。県と協力し、住宅供給を図っていくたい。

問 小貝川に架かる文巻橋が老朽化している。改修を国に求めているのか。

建設部長 毎年、要望活動を実施している。

問 紫水近隣に橋があると防災・減災に有効と考える。橋設置を求めるべき。

答 広域的観点や市の要望順位、重要度から、すぐに要望するのは難しい。

【その他の質問】 農政問題・放課後子どもクラブ・引きこもり対策

どうする？ 旧井野小・小文間小

結城 繁



問 旧井野小の跡地利用の状況は。

政策推進部長 建物は全て除去し、公園的なもので利活用を図っていく。

問 旧井野小体育館に音楽ホール設置の要望があると聞いているが。

政策推進課長 都市計画法や建築基準法の関係から、建設は難しい。

問 旧小文間小の最も古い平屋の旧校舎は、文化的価値が非常に高いが、跡地利用の状況は。

政策推進部長 建物が有名な建築家によるデザインであることから残してほしいという意見と、耐震にも課題があるので解体して広く使った方がいいという意見



特徴あるデザインの旧小文間小校舎

が地元にある。地元の意向が最も大切であり、今年度中に地元懇談会を開催。

【その他の質問】 取手駅周辺・地籍調査と法務局の地図作成

**犯罪抑止に
防犯カメラ増設を！**

金澤克仁



問 当市における防犯カメラの設置状況は。

総務部長 主要道路や駅前など36カ所、78台を設置。

問 今後の方向性は。

答 取手警察署と協議し、犯罪発生状況などを踏まえ、必要性の高い箇所から設置。

問 防犯カメラ機能付き自動販売機の設置を。

安全安心対策課長 関係部署と協議していきたい。

問 自治会や商店会の独自の防犯カメラ設置に対し、市として補助金制度を。

総務部長 防犯の効果があることは十分理解しているが、プライバシーの保護等も考えなければならぬ。

先進事例を調査研究して対応していきたい。

【その他の質問】 桑原土地区画整理事業

中心市街地整備課長 JRとしても現状は承知しているが、国交省の省令の基準内の幅員となっている。

【その他の質問】 保育行政・取手駅西口開発

見直せ！ 取手駅バリアフリー

加増充子



問 今回、市とJRが合意した取手駅東口のバリアフリー案は、利用者にとって真に利便性があるとは言えない。平成27年にJRと協議した協定書では、東口で新たに整備するルートと

なっている。協定に反する。

市長 全てのホームにエレベーターを設置することが一番と考えるが、取手駅は土盛りで造られた駅である。その周辺工事は不測の事態を招きかねず、JRとして極めて慎重な姿勢である。

そのような中、今回、JRから1・2番線ホームに転落防止などの安全対策としてホームドアが設置される。早期に、かつ費用の面でも合理的であり、進めることとした。

都市整備部長 駅構内のバリアフリー整備はJRが主体で決めるもの。さまざまな協議の結果、決定した。

問 駅ホームには、車椅子で安全に通れる幅が確保されていない箇所がある。

中心市街地整備課長 JRとしても現状は承知しているが、国交省の省令の基準内の幅員となっている。

【その他の質問】 保育行政・取手駅西口開発

どうなってる？ 幼児教育・保育無償化

関川 翔かづる



問 10月から幼児教育・保育の無償化が始まるが、保育施設利用者が保育料のどの認定区分に偏っても施設に入る保育料は同じか。

答 子育て支援課副参事 施設の収入に変動はない。

問 無償化対象外の送迎費、食料費、行事費等の料金は誰が決めるのか。

答 各施設において定める。上限額はないが、保護者に根拠が示せる金額で設定。

問 各施設で設定することにより問題は生じないのか。

答 保護者に説明し、同意を得ることとなっている。また、国の基準額を大きく上回って徴収していないかなど、今後も注視していく。

問 待機児童に変動は。



元気いっぱい市内保育所の子どもたち

答 影響は少ないと考える。

問 今後、無償化の周知徹底はどのように。

答 幼児教育・保育無償化ハンドブックを作成したのて配布して周知していく。

【その他の質問】 小中学校登下校の安全対策

運営に疑問： 放課後子どもクラブ

池田 慈めくみ



問 児童クラブと子ども教室を一体型で行っているが、取手市の一体型は、国の一体型とは違うと考えるが。

答 教育部長 児童クラブ室で両事業を一体的に行う運営でも支障はないことから運営している。

問 放課後子どもクラブそれぞれで運営方法に違いがある。各クラブから運営委員が必要。

答 スポーツ生涯学習課長 支援員会議を年数回実施し、そこで意見を反映している。

問 コーディネーターが重要な役割を担っている。今後、各クラブに1人の配置を。

答 一日も早い任用に努めている。今後は、各クラブに1人配置できるように進めていきたい。

問 子ども自身へのアンケートの実施を。

答 来年の夏休み前に実施を検討していく。



放課後子どもクラブ

問 特別な配慮を必要とする児童への対応は。

答 教育部長 学校との連携、支援員は認定研修を受講するなど、向上を図っている。
【その他の質問】 入札における最低制限価格制度・児童福祉審議会

丁寧な市民へ説明を 立地適正化計画

関戸 勇いさむ



問 立地適正化計画の進行状況は。

答 都市整備部長 10、11月に計画案のパブリックコメントや住民説明会を実施し、今年度中に計画を公表予定。

問 住民説明会は、市街化調整区域も含め、場所や回数を多く開催すべき。

答 都市計画課長 都市機能誘導区域として考えられる取手駅・藤代駅・戸頭駅を中心とした3カ所で、それぞれ開催予定。

問 取手駅西口再開発と立地適正化計画の関係は。

答 立地適正化計画の目的でもあるコンパクトシティの町づくりに向け、欠かせない施策であるため、推進すべき事業として位置付け。

問 桑原周辺開発の関係は。

答 同様に推進すべき施策の一つとして位置付け。

【その他の質問】 大規模盛土造成地・投票率の向上

法違反がある！ 生活保護事務

細谷典男



問 8月に、生活保護事務に関する県の監査があったが、生活保護取り消し事例への指摘は。

答 社会福祉課長 今後、国、県からの指示を待って、返還等の事務を進めたい。

問 生活保護は、収入と支出で決定する。支出の部分にマル福の方で医療限度額を適用した事例は。

答 1件ある。

問 その手続きは、支出が3万円以上も高くなる。徹底した改善をすべき。

答 申請に当たって代筆することはあるのか。

答 病状等によって、記入困難な場合に行う。その際は、本人に確認をしている。

問 無断で行ったものは代筆ではないことを確認する。

答 福祉部長 課長答弁以外は代筆とは言わない。

問 医療保護入院費の支払い義務は誰にあるのか。

答 福祉部次長 精神障がい者または扶養義務者が負担。

問 入院に同意した人にも入院費用負担依頼の手続きはしているのか。

答 福祉部長 払っていただけませんか、とお願いはしなればならない。

問 これまでの調査や今回の質問で、重要な法違反がある。信頼回復への考えは。

答 おわび申し上げる。事態をきちんと処理したい。

【その他の質問】 精神障がいと疑われる者への対応・給食費の公会計・教員の業務軽量化

罰則で強化を 犬のふん害対策

落合信太郎



問 犬猫のふん害防止の取り組みとして「イエローチョーク作戦」がスタートし、約半年が経過した。私自身も実践し、効果を実感している。回覧板やチラシ作成などにより、さらなる周知徹底が必要と考える。

答 まちづくり振興部次長 一度対応した後の再苦情がないことから一定の効果がある。今後、回覧板や広報でさらに啓発していく。

問 神奈川県茅ヶ崎市では、ふんの不始末など町を汚す

行為に罰金を科す条例を制定している。当市でも条例の見直しを。

答 まちづくり振興部長 抑止力にはつながるが、罰則を設けなくてもきれいになればよい。今後の検討課題。

【その他の質問】 食品ロスの削減への取り組み・収納管理業務・就労支援事業と就労継続支援事業

合同開催は？ 家庭教育学級

岩澤 信しん



問 市内小中学校、幼稚園に家庭教育学級がある。私も4月に開級式に参加させていただき、素晴らしい事業と認識している。家庭教育学級は、家庭教育の充実や親同士の親睦、学校生活の情報交換などが目的である。

答 学校単位での事業は、参加者数の関係から難しい状況がある話も聞いている。中学校区など合同で事業を開催することはできないか。

答 スポーツ生涯学習課長 学校ごとに担当する社会教育指導員を配置している。年度途中での変更は難しいが、年度当初であれば可能。

問 教育部長 今後は合同での開催など調整できるように取り組んでいく。

【その他の質問】 消防団の装備品

答 消防団の装備品

発展を目指して… 取手市の農業

飯島悠介



問 新規就農の補助を受けるための県が認めた研修機関は、水戸市近隣にしかない。新規就農者推進のため、市内での研修・教育を受けられる体制づくりを。

農政課長 通いやすい場所で受講することができれば、就農の間口が広がる。今後、県と協議していきたい。

問 地域おこし協力隊を受け入れ、地域の農業をコーディネートする役割を担っていたら、当時の農業が進展すると思われるが、まちづくり振興部長

農業 のオートマチック化、スマート農業に変わってきている面もある。議論を重ねて検討していきたい。

問 とりで生涯現役ネットにおいて、生きがいを持って生きる地方での暮らしのための今後の方向性は。

答 農業を目的に移住される方への支援として、さまざまな補助制度などを紹介していきたい。

どうなる？ 防災ラジオ

渡部日出雄



問 今回、防災ラジオが導入されるが、無償で配布す

る場所や関係者は。

安全安心対策課長 公共施設、指定避難所、福祉避難所、自主防災会、市政協力員、民生委員を予定。

問 防災ラジオの電源は。

答 普段はアダプターによるコンセントから。停電時などは単3電池3本で使用。

問 非常時には、強制的に電源が入って最大音量で情報が流れると聞いている。受信機能のテスト放送は、どの程度考えているのか。

答 月1回程度は試験放送を行いたい。

問 鉄筋コンクリートの建物内でも作動するのか。

答 受信できると考えている。

問 入手希望世帯の募集は、広報とりで以外にどんな方法を考えているのか。

答 ホームページのほか、チラシを作成し、市内で人が集まる場所への配置や地域の皆さんのご協力を得て周知したい。

問 入手申し込み多数の場合、災害時に支援が必要な方を優先してお渡ししては。

答 そのように考えている。特に、文字表示付きの防災ラジオ250台は、聴覚障がいのある方を優先にする。

いじめ問題対策 市の対策求める

小池悦子



問 いじめ自死問題に関し、

県の調査報告書を受け、市長の役割をどう考える。

政策推進部長 これまで以上に教育委員会と連携を図り、二度と起こらないよう再発防止策を作っていく。

問 教育委員会職員が都合の悪い情報を提供せず、教育委員をミスリードする姿勢は不当極まりない。この調査報告書への評価は。

教育長 深く反省し、速やかに是正した。

問 どのように反省しているのかを全生徒、保護者、市民に伝えるべき。

答 謝罪文をホームページに掲載。当時の3年生保護者に調査結果報告書を郵送。入学式では反省を踏まえた再発防止の決意を伝えた。

問 教育環境改善のため、各学校に市独自の加配を。

教育部長 スクールソーシャルワーカーの配置、校務支援システム導入など業務軽減を図っている。教員不足による人材確保も厳しく、現段階で加配は難しい。

問 市民参加の教育自治を育てるため、市民参加の地域づくり協議会設置を。

指導課長 いじめ問題対策連絡協議会に地区代表や人権擁護委員、PTA代表の方にも参加いただいている。

【その他の質問】 コミュニティバス運行の大転換・東海第二原発の再稼働中止を

県知事に求める自治体

中長期課題を見据え 町づくりを

佐藤隆治



問 市として2040年問題をどう捉えているか。

市長 団塊ジュニア世代が高齢者入りする時期に急速な高齢化が進む。空き家の急増、都市の空洞化、インフラの老朽化が著しく進行するなど複合的な課題がある。市でも既に扶助費の増大が著しい。総合計画や地方創生総合戦略を掲げ生産年齢人口割合の引き上げに取り組んでいる。

問 現在までの総合計画、総合戦略の評価は。

政策推進課長 今期総合計画は最終年。重点事業評価を積み上げ、15施策全てでA評価。総合戦略とも順調に取り組みを進めている。

問 総合計画と総合戦略の策定への進捗度は。

答 次期基本計画は総合計画と総合戦略を一本化する。策定委員会や有識者による総合計画審議会を設置し、今年度内の策定に向け審議中。

東京芸大との連携 生かして町づくりを

佐藤 清



問 取手駅ビル内の東京芸大と市のギャラリーの進行



東京芸大生による「ふれあいコンサート」

美術学部長のこれまでの取り組みや、野外ステージのようなもののは伺っている。

【その他の質問】 利根川(河川敷)の水辺空間の利活用

**色覚障がい
適切な理解を**

赤羽直一



問 色覚障がいについての市の理解は。

福祉部長 行政の発行物等でも配色によって見づらさを感じる人もおり、配慮が必要と認識。

問 市職員採用における色覚検査は。

総務部長 行っていない。消防長 検査はしていないが、消防職は煙や出血の色などの判断が職務上必要であり、視覚に異常がないことを定めている。しかし、全ての色覚異常を排除するものではない。

問 県の色の使用基準(ユニバーサルデザインサービス情報ガイドライン)もある。市の今後の方針は。

福祉部次長 市発行物など、より多くの方へ確実に情報を提供するため、カラーユニバーサルデザインを取り入れていく必要がある。ガイドライン作成も検討していく。

【その他の質問】 藤代駅北

口整備・投票率向上

皆さんの要望 請願

請願は、皆さんが国や県、市区町村に対し、一定の希望を述べる制度です。憲法には、国民の基本的権利として請願権（第16条）が保障されています。議会への提出は議員の紹介を通して行います。

刻さを増す。国に問題解決のための措置を求め、賛成。
※請願採択を受け、意見書案が可決されたため、次の内容の意見書を関係機関に提出しました。

【意見書概要】

義務教育費の国庫負担率が引き下げられたことで、地方自治体の財政が圧迫されている。日本全国どこに住んでいても一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請。豊かな子どもへの学びを保障するための条件整備を求める。

●**東海第二原発の再稼働に反対し廃炉を求める請願：採択**

【提出者】

茨城県教職員組合 杉山繁氏他161人

【紹介議員】

山野井議員

【討論】

関戸議員：いまや、教職員は過労死につながる長時間労働状態。このままの働き方では教職員が集まらず、深

市内も深刻な汚染に。国や

【討論】

池田議員

関戸議員：福島原発事故で

関係機関は安全な数値と言いが、子どもや孫の将来に不安がないと言いつけるのか。廃炉を求め、賛成。

●**自転車の活用推進に関する請願：採択**

【提出者】

取手バイコロジー運動推進協議会 会長 小嶋吉浩氏

【紹介議員】

柳沢夏希氏

【討論】

池田議員：自転車は人生において長い間活用できる身近な移動手段。茨城県でも自転車活用推進計画が策定



渋谷区の自転車通行帯

された。取手市においても安全で快適に自転車を利用するための環境整備が進むことを期待。賛成。

●**行政の過失に関して市長に謝罪を求める請願：不採択**

【提出者】

柳沢夏希氏

【紹介議員】

細谷議員

【討論】

池田議員：市長に謝罪を請願で求めること、記者会見で方針を明らかにすることに違和感を覚える。謝罪は請願にそぐわない。反対。

●**取手市例規の一部について改正を求める請願：不採択**

【提出者】

坂巻弘始氏

【紹介議員】

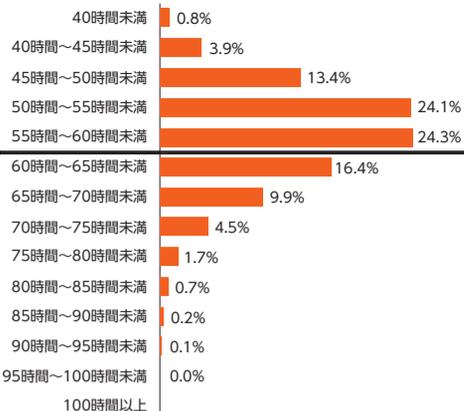
池田議員

【概要】

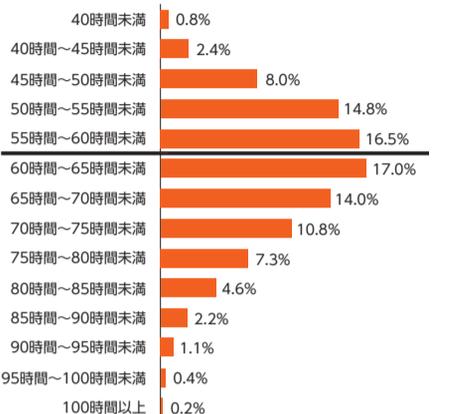
取手市例規中の「解釈」という文言を適切な表現に改正すること等を求めるもの。

1週間の学内総勤務時間(教諭)

小学校



中学校



※1週間当たりの正規の勤務時間は38時間45分
※黒い線は残業時間が1週間当たり20時間以上になる目安。労働基準法では残業時間の上限を月平均80時間以内と定めている。
出展：「教員勤務実態調査（平成28年度）の集計（速報値）について」（文部科学省）http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/04/_icsFiles/afieldfile/2017/04/28/1385174_002.pdf を引用。

臨時会が開催されました

10月21日に令和元年第2回臨時会が開催され、市長から提出された次の案件が審議されました。

●**副市長の選任：同意**

吉田雅弘氏（60） 〓西在住
吉田氏の経歴

昭和58年取手市役所入庁。秘書課長、会計管理者等を経て、平成29年から取手地方広域下水道組合事務局長を務める。

【討論】

遠山議員：副市長不在でも市政運営に何ら問題はなかった。副市長制度は廃止すべき。反対。

山野井議員：吉田氏は下水道組合の事務局長を務められた。持続可能なマネジメントを追求する勤勉さや、課題に向き合う姿勢を持つ方。期待する。賛成。
齋藤議員：吉田氏とは、これまで率直な意見をそれぞれ立場で交わすことができていた。市を取り巻く環境は大変な中、市長をサポートしてほしい。賛成。

●**令和元年度一般会計補正予算の専決処分：承認**

【内容】
台風15号災害対応に対する補正予算。

知の羅針盤

取手市議会ではインターネットを利用して、さまざまな情報を発信しています。この情報の海には皆さんの生活に役立つ情報（宝）がきっとあります。宝探しにお役立てください！

議会映像を見る

取手市議会
映像配信



過去の議事録を読む

会議録検索
システム



会議の進行状況を知る

取手市議会
公式ツイッター



取手市議会の活動を知る

取手市議会
ホームページ



会議だけじゃないんです！議会

定例会から定例会の間、議会では委員会を開いて市民や団体の皆さんと意見を交わしたり、講習を受けたりとさまざまな活動を行っています。今回は6月定例会から9月定例会までの2カ月の間をご紹介します。

7月11日 犬と共に引きこもり支援 視察

福祉厚生常任委員会では、7月11日、保護犬との関わりを通して引きこもり支援を行っている「NPO 法人キドックス」（土浦市）と、茨城県ひきこもり相談支援センターを運営している「一般社団法人アイネット」（筑西市）を現地視察しました。実績や事業の設立において大変だったこと、人員・体制など活発な意見を交わされました。阿部委員長は「市の引きこもり支援策に今回の視察で学んだことを生かしていけると確信しています」と述べました。



保護犬を活用した引きこもり支援の説明を受けました

5月11日～ ご意見・要望を 市政に！

令和元年5月11日に開催された意見交換会において、参加した市民の皆さんから頂いたご意見は、項目ごとに「総務文教」「福祉厚生」「建設経済」の三つの常任委員会に分担され、委員会ごとに現地を確認したり、担当している部署に現状の聞き取り調査を行いました。調査結果は、中間報告として今定例会で報告しました。11月9日に開催する意見交換会で報告いたしますので、ぜひお越しください。（詳細は1ページ下参照）

7月25日 引退後の暮らし充実「生涯現役ネット」視察

建設経済常任委員会は7月25日、取手駅西口前リボンとりで5階で、シニア世代の皆さんの経験を生かし「就業」「起業」「地域参画」へ向けた総合相談窓口等の様々な支援を行っている「とりで生涯現役ネット」を視察しました。市の担当課職員から事業の概要についての説明を、とりで生涯現役ネットの事業統括員からは事業の経緯と課題の説明を受けました。「限られた予算の中で、より多くの市民の方に利用していただくにはどうしたらよいか」、「もっと市民の方に知ってもらうには」等、課題に対する意見が交わされ、事業に対する理解を一層深めました。



窓口で事業の課題等を聞き取り調査

7月29日 あのとき議会はどう動けたか検証

総務文教常任委員会では、取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る当時の市教育委員会から議会への報告状況について、確認作業を行いました。



8月20日 有事のときこそ、地域の力に

8月20日、消防職員と女性消防団員の皆さんにご協力いただき、議会棟執行部控室にて議員研修会を実施しました。議員と議会事務局職員の合計18人が参加。有事の際、現場で救命処置ができるよう、心肺蘇生や自動体外式除細動器（AED）について学びました。議員からは「救急救命講習を受けるのは初めてではないが、何年かたつと忘れてしまうことが多い。定期的に講習

を受けたい。」「研修は知った顔同士で和気あいあいとできるが実際は違う。居合わせた人と協力してやるしかない。」といった声が上がりました。消防職員からは「救急車が到着するまで全国平均で約8分かかる。倒れている方が女性なら、人垣で周りから見えないようにする配慮も必要。もし現場に居合わせたら、自分にはできないと思わず協力してほしい。」と話がありました。



AED研修の様子

令和元年第4回定例会会期日程（案） （現在の予定ですので今後変更になる場合があります）

期日	曜日	会議	時刻	議事
11/21	木		午後5時	請願受付締切
11/29	金	本会議	午前10時	開会、議案上程・提案理由説明 一部議案質疑・討論・採決 請願上程・説明・質疑・付託 一般質問
12/2 ～4	月 ～水	本会議	午前10時	一般質問
12/5	木	本会議	午前10時	議案質疑・付託
12/6	金	委員会	午前10時	総務文教常任委員会
12/9	月	委員会	午前10時	福祉厚生常任委員会
12/10	火	委員会	午前10時	建設経済常任委員会
12/11	水	委員会	午前10時	議会運営委員会
12/12	木	本会議	午前10時	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会

政治家からの寄付行為は禁止です

公職選挙法により、寄付行為は禁止されています。有権者である市民の皆様が求めることも禁止されています。寄付行為には次の行為も含まれます。

- お歳暮・お年賀・年賀状※1
- 葬式の花輪・供花・香典※2
- お祭りへの寄付・差入 等



- ※1 年賀状や暑中見舞い等、時候のあいさつを出すのは、「答礼のための直筆によるもの」以外は禁止されています。
- ※2 政治家本人が葬式等に自ら出席してその場で行う場合は、罰則が適用されない場合があります。詳しくは総務省ホームページをご覧ください。



総務省
ホームページ

令和2年1月26日は市議会議員選挙（予定） みんなで選挙に行こう！